

ビワ生育情報

千葉県
平成20年6月号

平成20年5月の気象

平成20年5月の半旬別の気象は表1に示した。平均気温は第1、第4及び第5半旬を除く全ての半旬で平年を下回り、中でも第3半旬は平年より5.5℃低かった。月平均気温は17.2℃で、平年より0.6℃、前年より0.9℃低かった。

降水量は第2半旬を除く全ての半旬で平年を上回った。月合計は272mmで、平年の1.6倍、前年の1.5倍であった。

日照時間は第2及び第5半旬を除く全ての半旬で平年を下回った。月合計は147時間で、平年の79%、前年の69%であった。

表1 平成20年5月の気象（暖地園芸研究所）

半旬	気温(℃)			降水量(mm)			日照時間(時間)		
	本年	平年	前年	本年	平年	前年	本年	平年	前年
1	18.2	16.5	18.1	44	20	11	8	30	38
2	16.6	17.2	18.7	23	29	51	37	30	31
3	12.2	17.7	17.4	67	38	0	12	30	33
4	18.0	17.7	18.0	65	28	25	29	30	30
5	19.9	18.3	18.6	35	30	83	34	31	41
6	17.9	19.1	17.9	39	28	15	28	36	40
平均/計	17.2	17.8	18.1	272	172	183	147	186	213

7月の作業(果実の発育は次ページ)

7月に入ると梅雨もあけ、本格的な夏を迎える。収穫後の弱っていた樹は勢いを取り戻し、夏枝の伸長が盛んであるが、根の伸びは鈍くなる。7月の作業は夏の乾燥期に向けて草刈り、敷き草、カミキリムシの防除がある。

草刈り

梅雨明け時期に園内の草刈りを行う。高温乾燥期に草を生やしておく、草に水分がとられ、土は乾燥状態になりやすい。土が乾燥すると花着きはよくなるが、過度の乾燥は樹を弱らせる。草刈りを行い、土の乾燥防止のために刈り草は樹冠下に敷く。

カミキリムシの防除

カミキリムシはリンゴ、イチジク、クワ、ビワなどを加害する枝幹害虫で、ビワに寄生するカミキリムシはクワカミキリが多い。体長は4cm位、体は黒色地に暗黄色の短毛が密生している。幼虫は枝幹中に食入し、木質部を食べて育ち、枝の中心部を食い荒らすため、食害を受けた枝は折れやすくなり、甚だしい場合には枯死する。また食入部の傷口からがんしゅ病が感染することがあるので要注意である。成虫は産卵のために、7~8月に現れる

ので、朝夕の活動の鈍いときに捕殺する。食入穴から虫糞を出しているのが簡単に見つけることができる幼虫は、穴から針金などを入れてつき殺す。また卵は見つけしだいつぶす。

果実の発育

6月1日現在のビワの果径は表2にを示した。横径は「楠」が4.47cm、「大房」及び「田中」は3地区の平均でみるとそれぞれ5.10cm、4.30cmであった。本年の横径は「楠」及び「大房」が平年及び前年並みであったが、「田中」は平年より3%、前年より8%小さかった。

縦径は「楠」が4.70cm、「大房」及び「田中」は3地区の平均でそれぞれ5.18cm、4.73cmであった。本年の縦径は「楠」及び「大房」が平年及び前年並みであったが、「田中」は平年より3%、前年より8%小さかった。

果径指数は「楠」が0.95、「大房」及び「田中」は3地区の平均でそれぞれ0.98、0.91であった。3品種共に平年と同じか高かった。果形は3品種共に平年よりやや丸い傾向であった。

着色程度は「楠」が3.1、「大房」及び「田中」は3地区の平均でそれぞれ2.8、1.1で、「楠」は平年より進んでいたが、前年より遅れていた。「大房」及び「田中」は平年及び前年より遅れていた。

1～2月の気温は平年より低く経過したが、6月時点の果実の発育は「田中」を除いて平年並である。本年の着花房率は平年より多かったが、一部では寒害の被害がみられたために、着果量は平年並である。

本年の果樹カメムシ類の発生は、南房総市他県南地域で平年並で、本年は発生が少ない前年より多いと予測しており、カメムシの発生の多い園では、ビワ園への飛来に注意を要する。

表2 果実の発育（6月1日の果径）

品 種	調 査 地	横 径 (cm)			縦 径 (cm)			果径指数			着 色 程 度			
		本年	平年	前年	本年	平年	前年	本年	平年	前年	本年	平年	前年	
楠	暖地園研	4.47	4.38	4.55	4.70	4.69	4.74	0.95	0.94	0.96	3.1	3.0	4.1	
	青 木	5.02	5.01	5.11	5.04	5.12	5.09	1.00	0.98	1.00	2.9	2.9	3.3	
	大 房	南 無 谷	5.12	4.96	5.34	5.17	5.09	5.43	0.99	0.98	0.98	3.0	3.0	3.7
	暖地園研	5.15	4.89	5.32	5.33	5.05	5.42	0.97	0.97	0.98	2.6	2.7	3.8	
	平 均	5.10	4.95	5.26	5.18	5.09	5.31	0.98	0.97	0.99	2.8	2.9	3.6	
田 中	青 木	4.38	4.47	4.66	4.88	4.94	5.04	0.90	0.90	0.92	1.2	1.8	1.7	
	大 房	南 無 谷	3.91	4.42	4.70	4.31	4.87	5.23	0.91	0.91	0.90	1.0	1.8	1.8
	暖地園研	4.60	4.45	4.69	4.99	4.89	5.21	0.92	0.91	0.90	1.1	1.6	2.3	
	平 均	4.30	4.45	4.68	4.73	4.90	5.16	0.91	0.91	0.91	1.1	1.7	2.0	

果径指数：横径／縦径

着色程度：1(未着色)～4、5(完全着色)

平年：1986年～2007年の22年間の平均、ただし着色程度は1999年～2007年の9年間の平均

【生育情報の問合せ先：千葉県農林総合研究センター 暖地園芸研究所 果樹研究室 電話0470-22-2961】

※果樹の生育情報は「ちばの農林水産業」の「生産技術に関する情報」でもご覧いただけます。

<http://www.pref.chiba.lg.jp/nourinsui/>